



「理容店は地域の方とのつながりによって成り立っている。」  
 そう語るのは杉野理容店三代目である杉野正一さん。  
 親子三代にわたって来てくださるお客様。子ども達の成長を実感しながらできる仕事。近所の方とのつながりを大切に、コミュニケーションをとりながら理容店を営んでいる。お店に置いてある漫画はほとんどが近所から頂いたもので、それもつながりがあったること。

# つながりを大切に

杉野理容店 杉野 正一

No.89

学生時代に、父の仕事を見て、楽しそうだと思い、軽い気持ちで、俺も理容店の仕事をやりたいと父に相談したところ、「お客さんの髪や肌には直接触れたり接したりする仕事は、慣れていないと大変。やめておけ。」そう言われた。それでも、理容師として7年ほど富山市で修業をし、実家に帰ってきた。理容店でおしゃべりしながらゆっくり過ごしたい方。早く済ませてほしいと思っている方。耳掃除が大好きで来てくれてい

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。

髪の毛を切るのに使うハサミは一本八万円ほど。お父さんが残してくれた形見のハサミは一本三十万円もする。今も現役で利用している。「髪の毛を切るときハサミを持つ手は親指だけを動かして切る。これが出てくるまでに時間がかかる。」杉野さんは一年ほど前から副業として似顔絵を描いている。



る方。自分のこだわりの髪型にしてほしい方。お客さんのちょっとしたニユアンスを汲み取りサービスを提供しなくてはならない。杉野さんのお父さんは、そうしたお客様一人一人の接し方を覚えていた。そんなお父さんが七年前に他界。

きつかけは、商工会青年部で電話帳を作成することになり、広告に社名だけでなく店主の似顔絵と一緒に紹介している欄を見かけ、「自分も同じようなことが出来ないか」と思った時だった。また、仕事の空き時間を有効利用して何かできたらいいなと考え、始めた。男性の顔は比較的簡単に描けるが、女性の顔は難しい。輪郭が少し違うだけで瘦せて見えたり太つて見えたり。当初は、理容店のお客様をモデルにサービスとして描いていたが、テレビ取材やフェイスブックを通じて、似顔絵を描いてほしくて散髪に来られるお客様も増えた。「完成した似顔絵をお客様に見せるととても嬉しそうなお表情をしてくれ、そんなお客様を見るとこっちまで嬉しくなる。」似顔絵を描く際、一人一人の顔の特徴や髪型をとらえ丁寧に仕上げていることは、本業である理容店で散髪する際に通じるものがある。



## 杉野理容店

〒932-0042  
 富山県小矢部市西福町10-21  
 TEL 0766-67-1345

「いろんな人との繋がりに本当に感謝している。」  
 将来の夢は？そんな質問を杉野さんに聞いてみた。  
 「妻と一緒に働けるように準備中です。」  
 「子供には、この仕事を継いでもらいたいとは思わない。僕まででしようね。」  
 街の散髪屋が描く似顔絵。すぐ傍まで道路が整備され、道幅が広がった。杉野理容店の前は、まだまだ昔のまんまのたたずまいを残す。

プレゼント



理容師ならではの気配りで  
 あなたの似顔絵を描きます！

似顔絵プレゼント 5名様

募集期間：平成24年6月11日(月)まで  
 PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/>  
 OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
 Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>

僕の似顔絵を準備してあるとは、さすがです！



店長の一言